⑤各所鋼製部材の発錆について

現　　状	
放水口ボックスの発錆 危険度 ☆☆☆ 緊急度 ★★★ 影響度 ★★☆	

現　　状

現状として、火災報知器、設備盤や避難ハッチ等の鋼製部材全般に塗装材の劣化や発錆が確認されました。

発生要因

発生要因としては、経年により表面の塗装材が劣化して錆及び腐食を誘発したものと判断されます。

評　　価

これらの発錆部においては、美観上の問題だけでなく、今後急速に錆が進行し、更に腐食へと進行していくことにより、部材自体の強度低下等につながります。また、全般的に表面を保護している塗装材自体が脆弱化していることから、現在発錆していない部分も今後急速に発錆していく可能性が懸念されます。

以上のことから、この鋼製部材においては、まだ劣化進行が軽微なうちに表面の保護塗装の塗り替え及び部材交換を行うことをお薦めします。